JASDAQ

平成28年６月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年２月12日

上場会社名　株式会社かんなん丸　　上場取引所　東
コード番号　7585　　ＵＲＬ　http:// www.kannanmaru.co.jp
代表者（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　佐藤　栄治
問合せ先責任者（役職名）　管理部次長　　（氏名）　宮永　一彦　　(TEL)048-881-9056
四半期報告書提出予定日　平成28年２月12日　　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成28年６月期第２四半期の連結業績（平成27年７月１日～平成27年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年６月期第２四半期	2,835	△5.6	112	△5.8	115	△9.7	51	△0.5
27年６月期第２四半期	3,002	△3.9	119	26.2	127	20.0	51	11.5

（注）　包括利益　　28年６月期第２四半期　　51百万円（△2.2%）　27年６月期第２四半期　　52百万円（9.7%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
28年６月期第２四半期	13.50	―
27年６月期第２四半期	13.56	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年６月期第２四半期	4,166	3,428	82.3
27年６月期	4,138	3,438	83.1

（参考）自己資本　　28年６月期第２四半期　　3,428百万円　　27年６月期　　3,438百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
27年６月期	―	0.00	―	16.00	16.00
28年６月期	―	0.00			
28年６月期(予想)			―	16.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成28年６月期の連結業績予想（平成27年７月１日～平成28年６月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通　期	5,700	△1.7	127	△24.6	126	△31.1	50	△36.0	13.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：有
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年６月期２Ｑ	4,351,308株	27年６月期	4,351,308株
②　期末自己株式数	28年６月期２Ｑ	539,587株	27年６月期	539,541株
③　期中平均株式数(四半期累計)	28年６月期２Ｑ	3,811,750株	27年６月期２Ｑ	3,811,787株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ２「１.当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 6
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書 7
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の向上や雇用情勢の改善がみられ、景気は緩やかな回復基調で推移しておりますが、中国の景気減速や原油を始めとする資源価格の変動による下振れリスクなど、依然として不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、景気回復傾向に伴う人件費関連コスト等の上昇や食材価格の高騰に加え、業種・業態を超えた企業間競争は激しく、経営環境は引き続き厳しい状況で推移しております。

こうした状況の下、当社グループは既存店の活性化を図り、地域一番店を目指す方針に基づき、人材の発掘・登用を積極的に行い、また、「わざわざご来店いただいたお客様」にご恩返しするためのきめ細かい施策を継続して実施してまいります。

当第２四半期連結会計期間末の店舗数は、大衆割烹「庄や」40店舗、「日本海庄や」40店舗、気楽な安らぎ処「やるき茶屋」９店舗、カラオケルーム「うたうんだ村」８店舗、もつ専門料理「東京芝浦もつ丸」１店舗、コーヒー専門店「ドトールコーヒーショップ」１店舗、旬菜・炭焼「炉辺」１店舗の合計100店舗となっております。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高2,835,396千円（前年同四半期比5.6％減）、売上総利益は2,038,366千円（前年同四半期比5.6％減）、販売費及び一般管理費については1,925,580千円（前年同四半期比5.6％減）となり、営業利益は112,786千円（前年同四半期比5.8％減）となりました。

経常利益につきましては、115,020千円（前年同四半期比9.7％減）となり、税金等調整前四半期純利益95,701千円（前年同四半期比9.2％増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は51,449千円（前年同四半期比0.5％減）となりました。

また、当第２四半期連結累計期間において、固定資産の減損損失18,080千円を計上しております。

なお、当社は料理飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は1,899,444千円となり、前連結会計年度末に比べて124,400千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が101,441千円増加したこと及び売掛金が19,121千円増加したことによるものであります。

また、固定資産は2,266,948千円となり、前連結会計年度末に比べて96,377千円の減少となりました。これは主に、固定資産の減損損失18,080千円及び減価償却費101,969千円の計上によるものであります。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は557,611千円となり、前連結会計年度末に比べて53,539千円の減少となりました。これは主に、決算月次の仕入高の増加に伴い買掛金が58,555千円増加したことによるものであります。

また、固定負債は180,316千円となり、前連結会計年度末に比べて15,602千円の減少となりました。これは主に、長期借入金が返済により6,945千円減少したこと及び資産除去債務（長期）が7,380千円減少によるものであります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産は3,428,620千円となり、前連結会計年度末に比べて9,936千円の減少となりました。これは、配当支払による減少及び四半期純利益の計上の結果、利益剰余金が9,538千円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,555,209千円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は243,828千円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益95,701千円、減価償却費101,969千円、仕入債務の増加額58,555千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は95,073千円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出63,250千円、定期預金の預入による支出32,307千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は78,420千円となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出17,345千円、配当金の支払額60,981千円によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年８月13日に公表しました平成28年６月期の業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号　平成25年９月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成25年９月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第７号　平成25年９月13日）等を第１四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第２四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成27年６月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成27年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,606,054	1,707,495
売掛金	36,622	55,744
商品	72	67
原材料	34,722	41,336
前払費用	76,311	73,088
その他	21,260	21,711
流動資産合計	1,775,043	1,899,444
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,101,445	1,012,381
その他（純額）	290,465	281,761
有形固定資産合計	1,391,911	1,294,142
無形固定資産	15,482	15,061
投資その他の資産		
敷金及び保証金	801,414	801,188
その他	171,560	173,086
貸倒引当金	△17,042	△16,530
投資その他の資産合計	955,932	957,744
固定資産合計	2,363,326	2,266,948
繰延資産	178	155
資産合計	4,138,548	4,166,548
負債の部		
流動負債		
買掛金	111,727	170,282
短期借入金	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	41,708	31,308
未払法人税等	15,868	59,684
賞与引当金	2,550	2,440
資産除去債務	―	8,869
その他	322,217	275,026
流動負債合計	504,071	557,611
固定負債		
長期借入金	31,943	24,998
資産除去債務	160,196	152,816
その他	3,779	2,502
固定負債合計	195,919	180,316
負債合計	699,991	737,928

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成27年６月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成27年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	275,100	275,100
資本剰余金	88,500	88,500
利益剰余金	3,687,678	3,678,139
自己株式	△621,765	△621,859
株主資本合計	3,429,512	3,419,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,043	8,740
その他の包括利益累計額合計	9,043	8,740
純資産合計	3,438,556	3,428,620
負債純資産合計	4,138,548	4,166,548

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成26年７月１日 至　平成26年12月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成27年７月１日 至　平成27年12月31日）
売上高	3,002,807	2,835,396
売上原価	843,136	797,029
売上総利益	2,159,671	2,038,366
販売費及び一般管理費	2,039,975	1,925,580
営業利益	119,695	112,786
営業外収益		
受取利息	260	286
受取保険金	5,688	－
協賛金収入	1,000	879
債務取崩益	178	84
貸倒引当金戻入額	－	511
その他	1,357	661
営業外収益合計	8,483	2,423
営業外費用		
支払利息	234	189
貸倒引当金繰入額	440	－
その他	91	－
営業外費用合計	766	189
経常利益	127,413	115,020
特別損失		
固定資産除却損	154	1,239
減損損失	39,597	18,080
特別損失合計	39,752	19,319
税金等調整前四半期純利益	87,660	95,701
法人税、住民税及び事業税	45,275	50,151
法人税等調整額	△9,321	△5,899
法人税等合計	35,954	44,252
四半期純利益	51,706	51,449
親会社株主に帰属する四半期純利益	51,706	51,449

（四半期連結包括利益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成26年７月１日 至　平成26年12月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成27年７月１日 至　平成27年12月31日）
四半期純利益	51,706	51,449
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	577	△303
その他の包括利益合計	577	△303
四半期包括利益	52,284	51,146
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,284	51,146
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成26年７月１日 至　平成26年12月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成27年７月１日 至　平成27年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	87,660	95,701
減価償却費	113,957	101,969
減損損失	39,597	18,080
貸倒引当金の増減額（△は減少）	440	△511
賞与引当金の増減額（△は減少）	200	△110
受取利息及び受取配当金	△508	△533
支払利息	234	189
固定資産除却損	154	1,239
売上債権の増減額（△は増加）	△12,869	△19,121
たな卸資産の増減額（△は増加）	△4,619	△6,609
仕入債務の増減額（△は減少）	55,435	58,555
未払消費税等の増減額（△は減少）	△6,728	△21,753
その他	△2,199	26,639
小計	270,754	253,735
利息及び配当金の受取額	508	533
利息の支払額	△179	△130
法人税等の支払額	△47,968	△10,326
法人税等の還付額	－	15
営業活動によるキャッシュ・フロー	223,116	243,828
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△32,301	△32,307
有形固定資産の取得による支出	△83,349	△63,250
貸付けによる支出	△4,030	△3,270
貸付金の回収による収入	3,610	3,474
敷金及び保証金の差入による支出	△5,617	－
その他	294	280
投資活動によるキャッシュ・フロー	△121,393	△95,073
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△24,285	△17,345
自己株式の取得による支出	△68	△94
配当金の支払額	△60,737	△60,981
財務活動によるキャッシュ・フロー	△85,090	△78,420
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	16,632	70,333
現金及び現金同等物の期首残高	1,415,069	1,484,875
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,431,701	1,555,209

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。